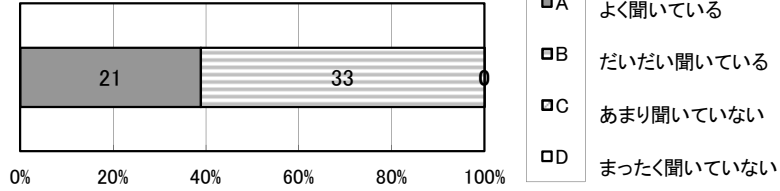


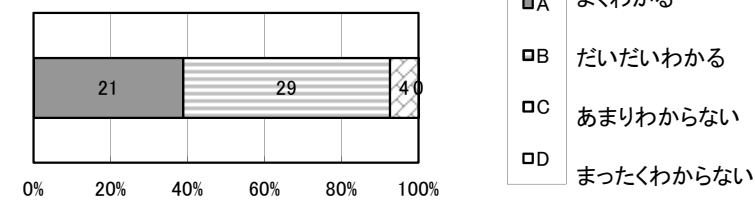
*** 4・5・6年の児童アンケート報告 ***

(1)授業中先生の話や友だちの発表を聞いていますか。



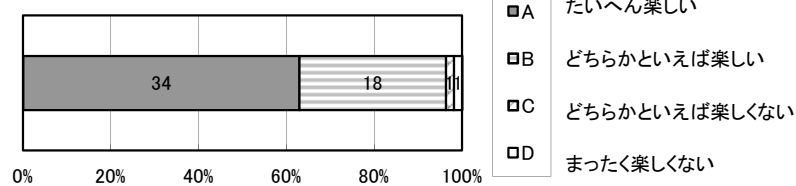
よく聞いている・だいたい聞いていると答えた児童を合わせると、100%です。普段から朝礼や授業中など、本校の児童は、本当に人の話をしっかり聞くことができていると感じます。本校では、「思いを伝え合う力の育成」を目指していますが、伝え合うためには「聞く力」も必要です。これからも、しっかり話を聞くことのできる子供の育成を目指していきます。

(2)あなたは、授業の内容がわかりますか。



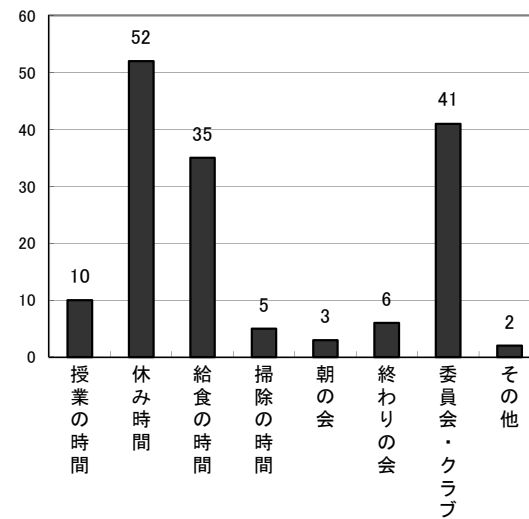
授業の内容がわかると答えた児童は54人中50名です。(1)の授業中に話を聞くことができていることも大いに関係があり、授業が分かるためには話を聞かなければなりません。あまりわからないと答えた児童4名の児童については、実態を把握し、「聞く」以外の課題を含めて対応を考え、個別の指導や補習などをして対応して参ります。

(3)あなたは、今の学校が楽しいですか。



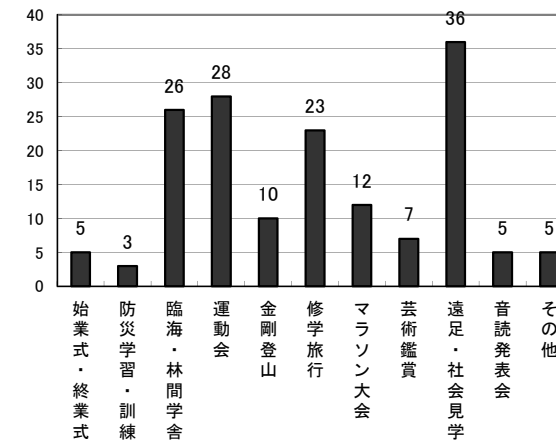
A・B合わせた肯定的な評価が54名中52名で約96%と、昨年度より割合が高くなっています。まったく楽しくない、どちらかといえば楽しくないと答えた子もいますので、無記名アンケートではありますが、各担任が様子を見ながら、対応が必要な児童に対し、その児童に合った支援を心がけています。要因は様々ですが、学校としては、全員の居場所を大事にしながら、集団生活の中での自尊感情を高められるよう、努力して参ります。

(4)あなたは、学校の時間で何の時間が楽しいですか。



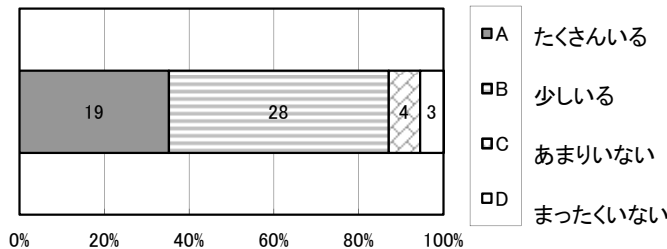
学校での楽しい時間、ベスト3は、①休み時間 ②委員会・クラブ ③給食の時間です。この傾向は昨年度、一昨年度の調査と変わりありません。休み時間は、自由な時間であり、クラブ・委員会も縦割り集団で選択した活動が楽しいのだと思います。給食が楽しいと感じている子が多いのはうれしいことです。授業時間を楽しいと答えた児童は次いで多くなっています。「やささと笑顔いっぱい学校」という教育目標を具現化するために、これからも努力します。

(5)あなたは、学校行事の中で何の行事が楽しいですか。

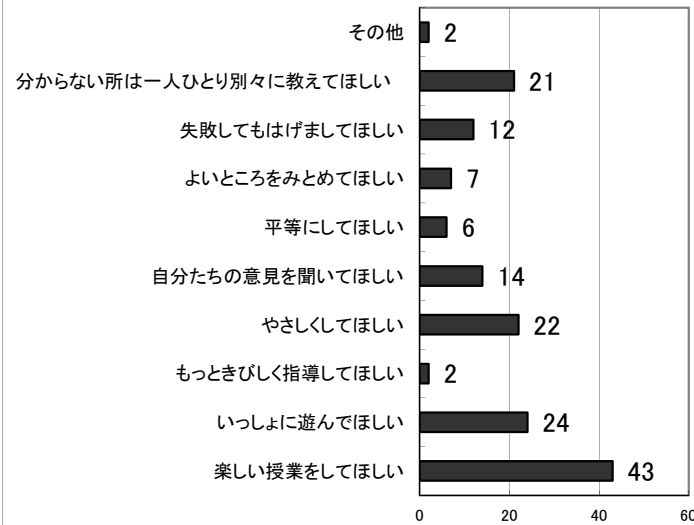


遠足・社会見学や臨海・林間学舎、修学旅行などの校外学習・行事は、子供たちにとってとても楽しいものようです。マラソン大会や金剛登山など、しんどさ乗り越える部分がある行事への回答数も割と多く、達成感を味わう魅力があるのかもしれない。今年度は、初めて「防災学習・訓練」の項目を入れましたが、これは楽しい行事というよりは、自分の命を守る真剣な場という捉えからか、学年が上になると回答が減っていました。学校行事は、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることが目標です。学校行事が子どもたちにとって楽しい行事になり、そして成長に寄与できるようにこれからも努力、工夫を続けていきます。

(6)学校にあなたの気持ちをわかってくれる友だちがいますか。約87%の児童が気持ちをわかってくれる友だちがいますと答えています。そしてたくさんいると答えた児童は35%います。しかしまったくいないと答えた子が3名。あまりいないと答えた子も4名いました。単学級の小規模校だけに、多様な出会いの場には恵まれません、ずっと一緒に学校生活を送る仲間の良いところをたくさん見つけ、信頼関係を豊かにしていけるよう支援していかねばなりません。個別の相談活動に力を入れるとともに、普段から児童との関わりを深くし、少しのサインも見逃さないよう努力します。また学級や学校全体での「仲間づくり」を推進します。



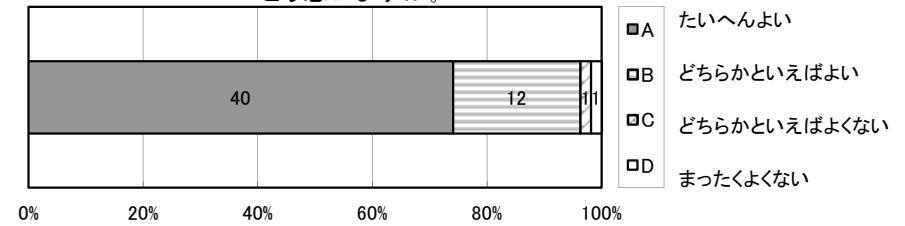
(7)先生に特に希望することはどんなことですか。



子供たちの先生に期待することは、

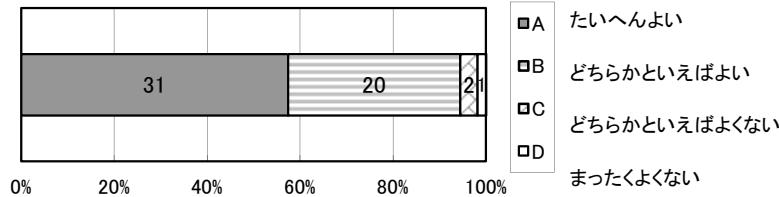
①楽しい授業をしてほしい
 ②いっしょに遊んでほしい
 ③やさしくしてほしい
 分からないところは一人ひとり別々に教えてほしい・・・という4項目に多くの回答がありました。この設問は、「現在そうではないので、そうあってほしい」、「現在満足しているが、引き続きそうあってほしい」という思い、どちらも含まれています。③と④は、今年度増えた回答です。算数については、複数教師指導(TT)や少人数分割授業で2人体制をとっていますが、学習も含め、全般的に、やさしく寄り添ってほしいという願いが込められていると判断しています。「よいところを認めてほしい」「失敗しても励ましてほしい」という回答は減っていますので、子供たちの自尊感情は高まっているようです。これからも、自尊感情を大切にしながら、子供たちの希望に応えるべく、楽しい授業、わかる授業の創造に力を入れていきます。

(8)教科によって担任以外の先生が授業をすることについてどう思いますか。



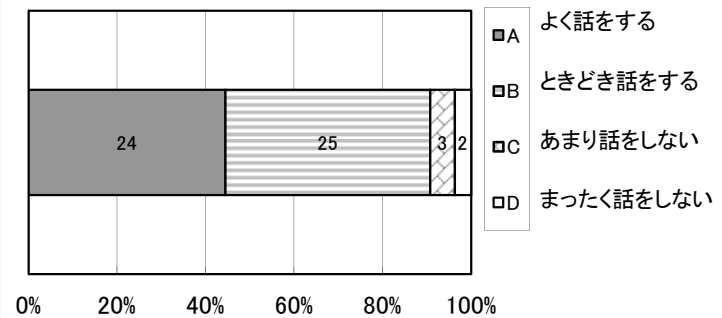
担任以外のいろいろな先生の授業を受けることを望んでいる児童がほぼ全員でした。そうではない児童も、2人とわずかですがいます。学級担任の授業スタイルで統一されている方が良いなど、個別の理由があるのだらうと思われま。いろいろな教師の専門性や個性に触れることは、社会性を培う上では大切なことです。小規模校ですので全員の教師が全ての子供に関わるように努力しています。これからもより多くの教師が関わられる体制を続けて参ります。

(9)あなたは、二人以上の先生に教えてもらったり、少ない人数で授業を受けたりすることについてどう思いますか。



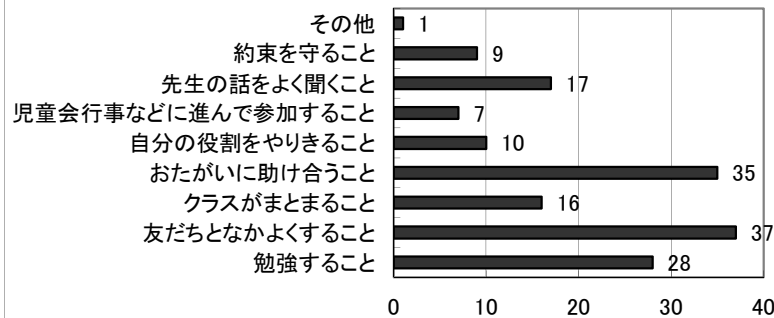
授業方法改善のため、算数科を中心に取り組んでいます。複数教師による授業や、少人数分割指導を、ほとんどの児童が肯定的にとらえています。習熟度別の学習など、今後も一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導を進めるとともに、個の課題に応じた授業のあり方を研究し、実践を進め、分かりやすい授業ができるよう、努力を続けて参ります。

(11)あなたは、お家の方に学校のことを話しますか。



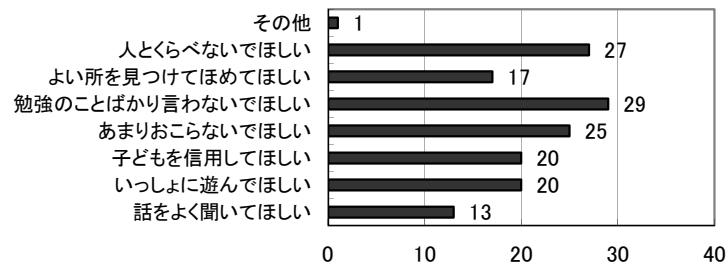
約90%の児童が、学校のことを話している反面、あまり話をしない・まったく話をしない児童もいます。ご家庭での生活サイクルや、個々の児童の気質など事情はさまざまだと思いますが、学校での話を聞くことを、保護者の皆さまも楽しんでいただく雰囲気、お子さんとの会話をこれからも大事にさせていただけたらと思います。本校ホームページは、これからもできるだけ頻繁に更新しますので、話題作りの一助となれば幸いです。

(10)学校生活で特に大切だと思うことは何ですか。



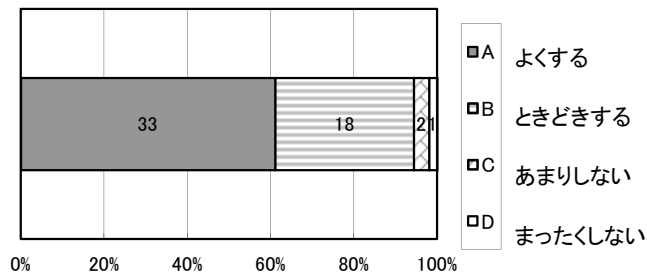
①友だちとなかよくすること。②おたがいに助け合うこと。③勉強すること。④先生の話をよく聞くこと。・・・など子供もたちは自分たちの学校生活をよりよいものにするため、大切にしなければならないことについて、しっかり考えているようです。「先生の話をよく聞くこと」が、4番目に入ったのは、過去2年間になかったことです。「しっかり話を聞くこと」の大切さを折に触れ伝えてきた成果であったり、教師への信頼感の表れであるならば、うれしいことです。これからも、一人ひとりの児童の思いを受け止め、充実した学校生活となるようにして参ります。

(12) おうちの方に特にしてほしいことは何ですか。



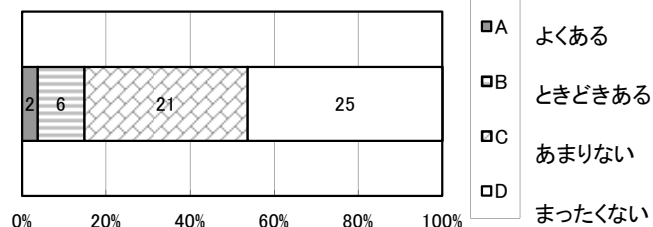
子供たちからおうちの方に望むことについては、
 ①勉強のことばかり言わないでほしい
 ②人とくれないでほしい
 ③あまりおこらないでほしい
 …という項目に多くの回答がありました。結果のグラフから、子どもたちの思いの傾向を受け止めていただき、ご理解ください。

(13) あなたは、近所の方に会ったらあいさつしますか。



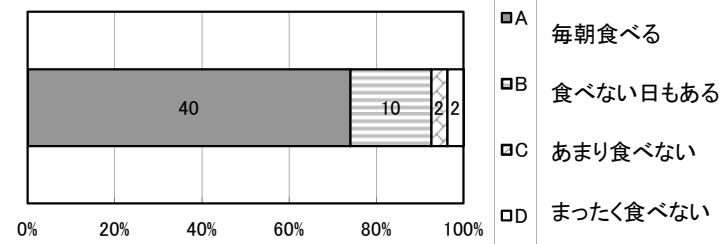
3名だけ、あまり・まったくしないと答えた児童がいますが、残り約95%は、近所の人とあいさつができています。子供と地域の方々の関わりが強い、この地域の良さが表れています。今後も、「あいさつ運動」などを地域の方々と共に取り組みを進めて、いつも、自分から進んであいさつできる子の育成に努力して参ります。

(14) 近所の方からあなたのしたことでの注意されたことがありますか。



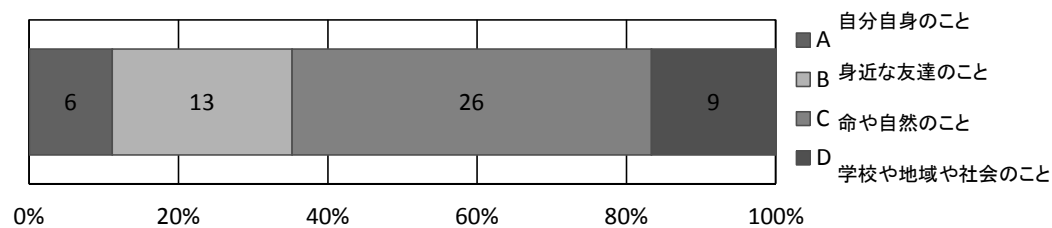
近所の方から注意をされたことがあるのは9名(約15%)でした。気になる行動について、地域の方がお声かけくださったのだと思います。「子ども見守り隊」や地域の方々にご協力いただき、声かけやあいさつはしていただいているようですし、子供と地域の方々の関わりは大切ですので、今後とも子供たちへの温かい関わりをどうかよろしく願いいたします。

(15) あなたは朝ごはんを食べていますか。



朝食を毎朝食べることは、健康な生活には欠かせないことです。食べない日もある、あまり食べない、まったく食べない児童が、約26%もいます。一昨年度は約13%、昨年度が約24%でしたので、増加傾向にあるという見方もでき、学校としましては、この数字を課題意識をもって受け止めています。学校で不調を訴えたり、イライラしたり、授業中に集中が続かない児童は、朝ごはんを食べていないことと関連があることが本当に多いのです。時間が無いからとか、食べたがらないからではなく、きちんと食べて登校させていただくようお願いするしかありません。ぜひ朝食を食べて登校できるようご協力をお願いします。学校では毎月、「こころと体とくらしのアンケート」を実施し、児童の心身状態の把握、より良い生活習慣・学習習慣の定着にむけての指導・支援を行っております。もし、何か食べることができない事情や健康上の理由等ありましたら、ぜひとも学校までご相談ください。

(16) 道徳の時間に、特に、みんなと考えたいことは何ですか



先だって「道徳の教科化」についての報道があり、道徳の学習についてはこれから大きく変わっていきますが、もちろん本校では、現行の道徳の授業を日々大切にしており、年間35時間、規定されている全ての価値項目(誠実・明朗、思いやり・親切、友情・信頼・助け合い、公正・公平・正義など)を扱って、授業を行っています。それらの価値項目は、大きく4つにまとめられています。それが、左のA～Dです。「生命尊重」や「自然愛・環境保全」などの価値項目が含まれるCの「命や自然のこと」を大事に考えている児童が多い、ということが分かりました。次年度の道徳の年間授業計画を作る際に、どの価値項目を重点目標にするのかを決める、参考にいたします。